

—岩手県立博物館テーマ展『比爪—もう一つの平泉—』パンフレット17頁—

3 比爪—奥州藤原氏第二の拠点— ③ 外縁遺跡

《一の平積石塚群(紫波町上松本字内方)(2)》

発掘調査はおこなっていないので、積石塚の具体的な内部構造や、構築年代は明らかになっておらず、どの様な目的で構築された塚であるのかは不明です。また、平場にあった施設の具体的な内容は不明です。しかしながら、人里離れた標高 500m以上の高地に存在する遺跡であり、日常生活に係わった施設の存在は考えがたい立地です。考えられる遺跡の性格としては、やはり信仰、宗教に係わるものが想定されます。

一の平積石塚群の南西側は急斜面で高度を増し、標高約590mの尾根となっています。その尾根の頂部を囲む形(約82m×36m)で、明らかに人為的な造成の「堀」が巡っており、「山館遺跡」と名付けられています。標高などを考えると通常の城館とは考え難く、「山館遺跡」も何らかの宗教的な施設であった可能性が高く、「一の平積石塚群」との関係性も考えられます。「一の平積石塚群」と、山館遺跡の直線距離は約200mとなります。

比爪館から見ると、「一の平積石塚群」はW-30°-Nの方位であり、比爪館からの夏至の日没方位とほぼ一致します。比爪館からみた夏至の日没方位に仏教的な仮託がなされ、一の平積石塚群や山館遺跡の施設が造営された可能性も指摘できます。

《《《 10月～11月行事予定のお知らせ 》》》

10月17日 (水曜日)	第96回月例発表会	午後7時から午後9時まで ◎ 会員発表 発表者：宮 良 男 テーマ：日本の仏教 3 発表者：平 井 和 夫 テーマ：吾妻鏡と奥州平泉 14
11月21日 (水曜日)	第97回月例発表会	午後7時から午後9時まで ◎ 会員発表 発表者：金 濱 興 一 テーマ：樋爪川 発表者：石 幡 信 テーマ：紫波郡の城館 3

◎ 設立10周年記念式典・祝賀会、シンポジウム、サミットの期日、会場が確定しました。

期日 平成31年7月7日(日曜日) 会場 紫波町桜町一丁目 ナックスホール

午前：樋爪シンポジウム 午後：樋爪さんサミット及び記念式典・祝賀会

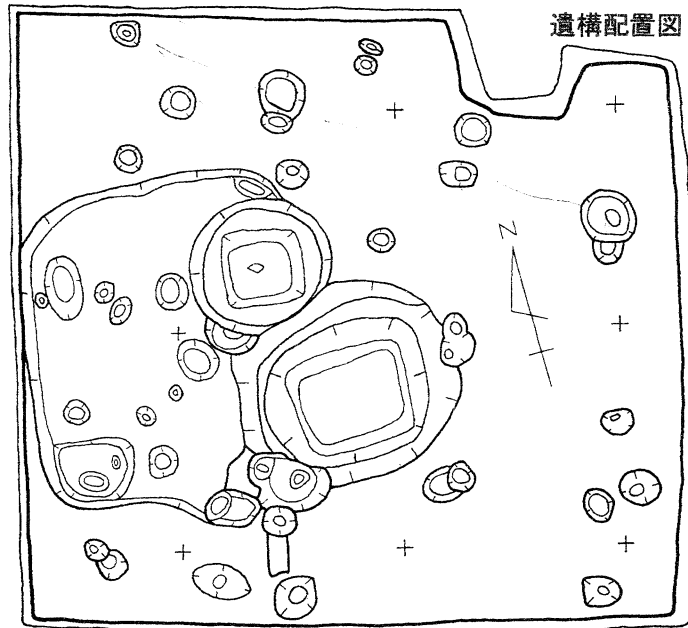
◎ 第2回記念事業準備委員会・第3回運営委員会を11月22日(木)午後6時30分から開催します。月例発表会の翌日で二日連続になり恐縮ですが、委員の方はスケジュールに入れられ出席くださるようお願いします。

【北日詰東ノ坊Ⅰ遺跡発掘調査報告書】(2) <平成19年3月 紫波町教育委員会>

2 北日詰東ノ坊Ⅰ遺跡発掘調査



完掘後全景
(東より)



遺構配置図

(2) 検出遺構と出土遺物

[検出遺構]

今回調査した地区は、平安時代集落及び12世紀館跡として周知の遺跡「比爪館」の北隣に位置する。

比爪館遺跡調査では、館跡を囲むように東北西と大溝が検出されている。

したがって、調査区は大溝の外側に位置し、比爪館遺跡の範囲外として位置していた。

今回の調査では、平安時代竪穴住居跡1棟、井戸跡2基、柱穴25基（掘立柱建物跡に伴うもの）を確認し、それに伴う遺物も出土した。



9月12日大銀Ⅱ・城内Ⅰ遺跡発掘調査現地見学で解説をいただいた西澤さん須原さんと参加者